

介護福祉士国家試験受験資格

(福祉総合学部福祉総合学科介護福祉コース)



介護福祉士国家試験受験資格

(福祉総合学部 福祉総合学科介護福祉コース)

I 介護福祉士とは

介護福祉士は、高齢者や障害者等の福祉を図るため、福祉施設等や居宅における介護サービスを行う社会福祉専門職の国家資格であり、「専門的知識及び技術を持って、身体上又は精神上の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者につき心身の状況に応じた介護を行い、並びにその者及びその介護者に対して介護に関する指導を行うことを業とする者」(社会福祉士及び介護福祉士法第2条2)と定義されている。

介護福祉士が働く職域は、介護保険施設など各種社会福祉施設の介護職員・生活支援員・相談員、居宅介護サービス事業所の訪問介護員、病院や社会福祉協議会に所属する介護職員など多岐にわたり、各分野で介護の専門技術に基づく支援や指導を行う。

II 介護福祉士をめざすには

本学の福祉総合学部福祉総合学科介護福祉コースは、指定介護福祉士養成施設である。本学介護福祉コースで、厚生労働省の指定した科目を全て単位取得すると、卒業と同時に介護福祉士国家試験受験資格を取得することができる。

1. 本学の介護福祉コースの目的は、本学の建学の理念のもと、指定介護福祉士養成施設としての専門的な学習・研究を通して、理念と技術を体得し、地域社会の介護ニーズに応えるとともに、国内外を通じて介護の分野でリーダーとなり得る人材を育成することである。
2. 介護福祉コースの履修を希望するものは、入学年度の4月又は9月授業開始までに、所定の介護福祉コース登録届を福祉総合学部事務室に提出しなければならない。
3. 介護福祉コースへの編入・転入は1年次9月までとする。
4. 介護福祉士の国家資格に係る厚生労働省指定科目は別表の通りである。全て取得しなければ介護福祉士の国家試験受験資格は取得できないので留意すること。
5. 介護実習の諸手続きや詳細は介護実習説明会において説明する。必ず説明会等には出席し、手続きの漏れや間違いがないようにすること。なお、介護実習に関わる諸費用は1, 2, 3年次に別に定める額を納入する。

※ 社会福祉士国家資格取得も希望する場合は、国家試験説明会に必ず出席すること。

※ 本学の福祉総合学部福祉総合学科介護福祉コースに所属しないで、介護福祉士の資格取得を目指す学生は、一定の受験資格を満たし、厚生労働省が実施する介護福祉士試験を受け合格することで、国家資格を取得することができる。

介護福祉士養成課程に関する科目

領域	指定科目等	本学科解説科目			備考	
	科目名	科目名	単位	年次		
人間と社会	人間の尊厳と自立	人間学	2	1・2		
	人間関係とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーション チームマネジメント論	2 2	1・2 2・3		
	社会の理解	社会の理解Ⅰ 社会の理解Ⅱ	2 2	1・2 1・2		
	人間と社会に関する選択	現代社会と福祉法制度 生活と文化 社会学 社会調査 国際福祉論 生命科学	2 2 2 2 2 2	1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 2・3	※この中から4科目 を選択すること	
介護	介護の基本	リハビリテーション論 介護とリスクマネジメント レクリエーション活動援助法Ⅰ レクリエーション活動援助法Ⅱ 介護概論Ⅰ 介護概論Ⅱ	2 2 1 1 2 2	3 2・3 1 1 1・2 2		
	コミュニケーション技術	コミュニケーション技法Ⅰ コミュニケーション技法Ⅱ	4 1	2・3 2・3		
	生活支援技術	生活支援技術Ⅰ a 生活支援技術Ⅰ b 生活支援技術Ⅱ 生活支援技術Ⅲ 生活支援技術Ⅳ 生活支援技術Ⅴ	2 2 2 2 2 2	1 1 2・3 2・3 2・3 2・3		
	介護過程	介護過程Ⅰ 介護過程Ⅱ 介護過程Ⅲ	2 2 1	1 2・3 2・3		
	介護総合演習	介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護総合演習Ⅲ 介護総合演習Ⅳ	1 1 1 1	1 2 3 4		
	介護実習	介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ 介護実習Ⅲ	2 4 4	1 2 3		
	こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみ	医学概論Ⅰ 医学概論Ⅱ こころとからだのしくみⅠ こころとからだのしくみⅡ	2 2 2 2	1・2 1・2 1・2 2・3	
		発達と老化の理解	発達と老化の理解	4	2・3	
		認知症の理解	認知症の理解Ⅰ 認知症の理解Ⅱ	2 2	1・2 2・3	
		障害者の理解	障がい者福祉論	4	1・2	
ケア 医療的	医療的ケア	医療的ケアⅠ 医療的ケアⅡ	2 1	3 3		

※社会福祉士指定科目を履修し、福祉総合学科を卒業した学生は、社会福祉主事、児童福祉司、児童指導員、身体障害者福祉司、知的障害者福祉司の各資格を取得できる。ただし、これらの資格は、専門機関・施設で担当職員として任用された後に有効となる任用資格である。

介護福祉士・社会福祉士受験資格取得履修モデル

科目群	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
学科共通科目群 I (語学)・II (情報)	情報メディア演習 I* ② Fundamentals of English I* ②			
キャリア形成科目群	基礎ゼミ a* ① 基礎ゼミ b* ① 福祉擬体体験 ② ICT 活用論② 福祉グローバル基礎研修①	地域福祉研修②	ゼミナール I a* ① ゼミナール I b* ①	ゼミナール II a* ① ゼミナール II b* ①
専門基礎科目群	人間学 ②	福祉医療ケアシステム論 ②	地域ボランティア論 ②	
専門科目群 I (福祉関連科目) 介護福祉士養成課程 に関する科目	レクリエーション活動援助 法 I ① レクリエーション活動援助 法 II ① 国際福祉論★ ② 生活と文化★ ② 認知症の理解 I ② 介護過程 I ② 介護総合演習 I ① 介護実習 I ②	コミュニケーション技法 II ① 介護概論 II ② こころとからだのしくみ II ② 介護過程 II ② 認知症の理解 II ② 生活支援技術 II ② 生活支援技術 III ② 介護総合演習 II ① 介護実習 II ④ 生命科学★ ②	リハビリテーション論 ② 発達と老化の理解 ④ チームマネジメント論 ② 介護過程 III ① 医療的ケア I ② 医療的ケア II ① 生活支援技術 IV ② 生活支援技術 V ② 介護総合演習 III ① 介護実習 III ④	介護総合演習 IV ①
専門科目群 I (福祉関連科目) 介護福祉士養成課程 と社会福祉士指定科 目の両方に含まれる 科目	社会の理解 I ② 社会の理解 II ② 社会学★ ② 現代社会と福祉法制度★ ② 人間関係とコミュニケー ション ② こころとからだのしくみ I ② 介護概論 I ② 生活支援技術 I a ② 生活支援技術 I b ②	コミュニケーション技法 I ④ 社会調査★ ② 障がい者福祉論 ④ 医学概論 I ② 医学概論 II ②	介護とリスクマネジメント ②	
専門科目群 (福祉関連科目) 社会福祉士指定科目	心理学 ②	権利擁護と成年後見制度論 ② 社会保障論 ④ 地域福祉の理論と方法 I ② 地域福祉の理論と方法 II ②	ソーシャルワークの基盤と専門職 I ② ソーシャルワークの基盤と専門職 II ② 子ども家庭福祉論 ② ソーシャルワーク実習指導 II ① ソーシャルワークの理論と方法 II ④	ソーシャルワーク演習 II ② 医療ソーシャルワーク論 ② ソーシャルワーク実習指導 III ② 司法福祉① ソーシャルワーク実習 ⑥
専門科目群 I (福祉関連科目)			社会福祉専門研究 I ② 社会福祉専門研究 II ②	社会福祉応用研究 I ② 社会福祉応用研究 II ②
各期単位数	46	48	42	20
累積単位数	46	94	136	156

★印の科目は、この中から4単位以上を選択すること。

*印の科目は、学部の必修科目である。

※地域福祉研修、生活支援技術IV、介護実習I・II・IIIは別途費用負担がある。

介護福祉コース・社会福祉士指定科目対応表

厚生労働省による（法令指定科目）	対応する本学開設科目			介護福祉コース読み替え科目	
	科目名	科目名	単位	履修年次	科目名
①医学概論	医学概論 I	2	1.2	医学概論 I	2
②心理学と心理的支援	心理学	2	1.2		
③社会学と社会システム	社会学	2	1.2	社会学	2
④社会福祉の原理と政策	社会福祉原論	2	1.2	社会の理解 I	2
	福祉政策	2	1.2	社会の理解 II	2
⑤社会福祉調査の基礎	社会調査	2	2.3		
⑥ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職 I	2	1.2		
⑦ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	ソーシャルワークの基盤と専門職 II	2	1.2		
⑧ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法 I	2	2.3	コミュニケーション技法 I	4
⑨ソーシャルワークの理論と方法（専門）	ソーシャルワークの理論と方法 II	2	2.3		
⑩地域福祉と包括的支援体制	地域福祉の理論と方法 I	2	2.3		
	地域福祉の理論と方法 II	2	2.3		
⑪福祉サービスの組織と経営	社会福祉経営	2	2.3	介護とリスクマネジメント	2
⑫社会保障	社会保障論	4	2.3		
⑬高齢者福祉	高齢者福祉サービス	2	1.2	介護概論	2
⑭障害者福祉	障がい児・者福祉サービス	2	1.2	障がい者福祉論	2
⑮児童・家庭福祉	子ども家庭福祉論	2	1.2		
⑯貧困に対する支援	貧困に対する支援論	2	2.3	現代社会と福祉法制度	2
⑰保健医療と福祉	医療ソーシャルワーク論	2	3.4		
⑱権利擁護を支える法制度	権利擁護と成年後見制度	2	2.3		
⑲刑事司法と福祉	司法福祉	2	2.3		
⑳ソーシャルワーク演習	ソーシャルワークの基礎	1	1	生活支援技術 I a	2
㉑ソーシャルワーク演習（専門）	ソーシャルワーク演習 I	2	2	人間関係とコミュニケーション	2
	ソーシャルワーク演習 II	2	4		
㉒ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導 I	1	3.4	介護総合演習 I	1
	ソーシャルワーク実習指導 II	1	3.4		
	ソーシャルワーク実習指導 III	1	4		
㉓ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習 I	6	3.4		
	ソーシャルワーク実習 II	2	4	介護福祉士国家資格取得予定者は免除	

